

子どもたちが裸足で遊べる公園をみんなで作りたい



6月19日、雨上がりの暑い中、大王公園に約120人も人が集まりました。団体の名前は「大王GreenProject」。今年5月、竹原市が推進する都市公園の芝生化事業に申し込み、認定された公園里親団体です。

市では、住民ボランティアが公園の清掃や緑化作業などを行い、親代わりになつた気持ちで公園を管理する公園里親制度を設けています。その一環として、今年度から、公園の芝生化事業を行っています。

「遊具が少ない公園じゃけえ、子どもたちが裸足で自由に遊べる公園を作りたいと思って申し込んだんですよ。」

そう話すのは、「大王GreenProject」代表者の土田勇さん。子どもたちからは、飼犬の「ポチのおじさん」として親しまれています。

転んでもケガが少ない遊び場をつくること、地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量軽減につながる芝を増やすこと、そして地

域を自分たちでつくるという気持ちで共有して、公園を次世代につなげていくことが活動の目的と言う土田さん。

「自分が勝手に申し込んだんじゃないけど、みんな『ええよ。やるうや。』って言うってくれた。みんなで作るという気持ちが大切だと思ったけえ、子どもから大人まで参加を呼びかけたら、予想以上に来てくれた。子どもたちも裸足で作業して気持ち良さそうじゃあ。」と、汗を流しながら芝生の苗を植え付ける参加者を笑顔で見守ります。

参加した中通小学校6年の畑美奈穂さんは、「植え付けはけっこう簡単にできたよ。芝生が伸びたら、ピクニックしたい。」と話します。他にも、子どもたちからは、「寝転びたい!」「日向ぼっこしたい!」という声がかれました。

地域で協力して緑豊かな公園をつくり、次世代に伝える「大王GreenProject」。

太陽の下、裸足で大王公園の芝生の上を駆け巡る子どもたちが見られるのも、もうすぐですね。

市政発展のためのご意見などをお寄せください



郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係
FAX 22-0998
※電子メールでも受け付けています。市ホームページ「市長の部屋」から送信できます。いただいたご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます場合があります。

ティータイム



今回の表紙は運動会。体を動かす子どもたちを見ると、日頃の運動不足を反省します。…が、今は4年に1度のワールドカップ。毎日テレビにくぎ付けで、動かすのはもっぱら目と手のみ。蒸し暑い中、冷たい飲み物を片手にテレビに向かって「がんばれ〜!」と念力を送る…。至福の時です。⑦

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,477人
男	13,892人
女	15,585人
	12,958世帯
1年前	29,836人
5年前	31,387人
	- 6月1日現在 -